

北杜市

公共施設最適配置に向けての基本方針
(概要版)

平成29年3月
山梨県北杜市

北杜市公共施設最適配置に向けての基本方針(概要版)

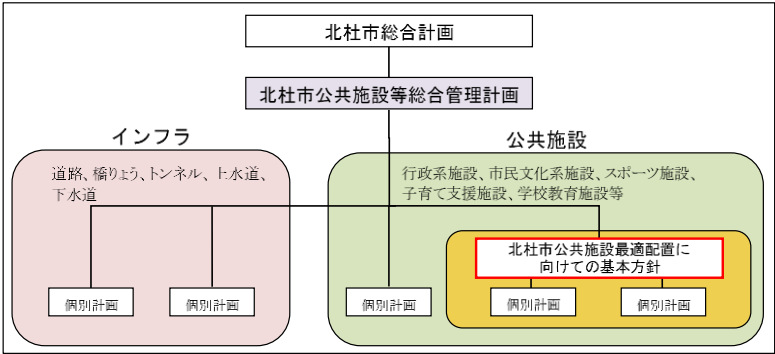
1. 目的及び位置付け

1.1 目的

「北杜市公共施設等総合管理計画」（以下、「管理計画」という。）に掲げる目標を具現化するため、公共施設の最適配置を推進する上での取組手法や留意すべき事項等を定めるとともに、施設類型ごとの最適配置に向けての具体的な方向性を示すことを目的とします。

1.2 位置付け

本方針は、公共施設の最適配置における取組内容や推進体制等の具現化を図った方針であり、今後の各個別計画を策定する際の指針として位置付けます。



2. 対象施設

本方針の対象施設は、管理計画の中で「今後取り組むべき方針を定める」施設として位置付けた「義務的施設②」及び「その他施設③」の294施設とします。

対象施設一覧

No.	大分類	中分類	施設数	義務的施設		その他施設	
				①※	②※	③※	④※
1	行政系施設	庁舎等	10	1	9		
		その他行政系施設	2			2	
2	市民文化系施設	文化施設	3			3	
		集会施設	10		4	6	
3	社会教育系施設	図書館	8		8		
		資料館等	12		11	1	
4	スポーツ施設	プール	2			2	
		体育館	9			9	
		弓道場	2			2	
		武道場	3			3	
		屋内ゲートボール場	8			8	
		グラウンド・管理施設等	21		2	19	
5	産業系施設	観光施設	31		4	27	
		農林施設	43		3	40	
		温泉施設	10			10	
6	子育て支援施設	幼児・児童施設	23	18	4	1	
		保育施設	15	15			
7	学校教育施設	学校	21	21			
		その他教育施設	7		7		
8	保健・福祉施設	高齢者福祉施設	15		3	12	
		障がい福祉施設	2		1	1	
		保健施設	1		1		
9	医療施設	医療施設	4		4		
10	市営住宅	市営住宅	51		51		
11	供給処理施設	供給処理施設	1	1			
12	その他	その他	47	1	34	2	10
合計			361	57	146	148	10
			本方針の対象施設		294		

※「管理計画」での分類

- ① 法律等で設置が義務付けられている施設
- ② 法律等による設置義務はないが、市で業務を扱う必要がある施設
- ③ 再編・再配置や複合化・多機能化など重点的に管理運営形態を検討する施設
- ④ 既に廃止や民間移譲など方向性が明確な施設

3. 基本方針

3.1 基本方針

(1) 縮減目標の考え方

向こう30年間に、施設の更新に際して延床面積を30%程度縮減することを目標とします。また、個別事情等により一律での縮減が困難な施設については、施設類型間の全体的な調整を図りながら縮減します。

(2) 耐用年数を見据えた検討

施設の最適配置を検討する際には、各施設の耐用年数の到来を考慮しつつ、時期を見据えて合理的に進めます。

(3) ランニングコストの支出状況に基づく縮減

毎年多額のランニングコストが必要な施設については、耐用年数の到来前であっても積極的に民営化等運営形態の最適化も含めた縮減を検討します。

また、ランニングコストがあまりかかっていない施設については、予防保全による長寿命化を図りつつ、人口や財政の動向、個別施設の状況等を総合的に勘案し、施設の更新時期には複合化・多機能化や類似機能の集約等により縮減を目指します。

(4) 最適配置を重点的に進める施設

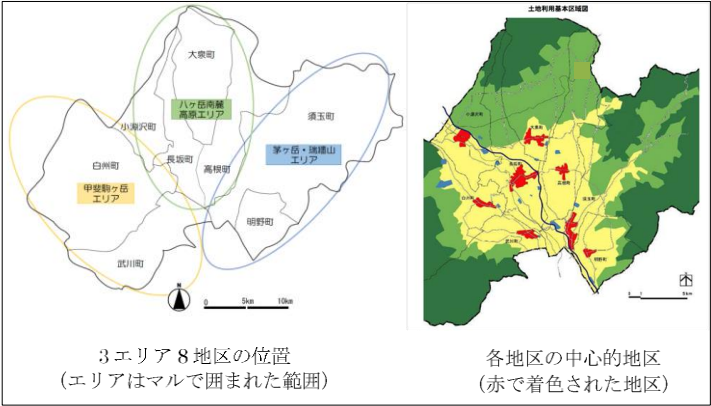
管理計画における「③再編・再配置や複合化・多機能化など重点的に管理運営形態を検討する施設」に該当する施設については、今後、優先的に個別計画を策定し重点的に最適配置を進めます。

3.2 最適配置に向けての考慮事項

(1) エリア・地区等を考慮

本市は地形的要因により3エリアに分けられ、また、合併前の各町村がそれぞれのまちづくりを行っていた関係で、8つの生活圏が形成されています。

最適配置を検討するに当たっては、こうした地形的要因や生活圏による市民の公共施設への交通上の便益等への影響を考慮して進めていきます。



(2) 施設特性に応じた利用圏域を考慮

本市の保有する公共施設には、多様なニーズを想定した多くの施設があります。

最適配置を検討するに当たっては、こうした施設特性ごとの利用圏域を考慮して進めていきます。

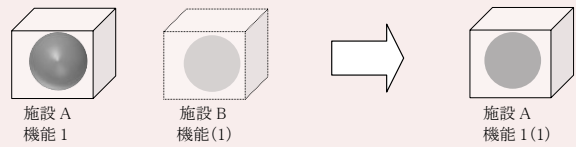
区分	最適配置の考え方	最終的な施設数のイメージ
【広域利用施設】 市民だけではなく観光客等の利用も想定した施設	・主に観光客等の利用が想定されることから、施設数をあらかじめ設定するのではなく、今後の観光やまちづくりに関する政策との整合を図りながら最適配置を進めます。	—
【全市利用施設】 全市民の利用を想定した施設	・合併前の町村によりそれぞれ配置されている施設を、全市単位で1つに集約することを基本とします。 ・地形的要因等を考慮し、場合によっては3エリアごとに1施設に集約することも検討します。	1～3施設程度 (全市で1施設若しくは3エリアごとに1施設)
【地域利用施設】 主に地域住民の利用を想定した施設	・地域レベルでの利用が想定される施設は、コンパクトな拠点形成が求められていることから、8地区ごとに地域レベルの複数の施設を集約し総合化した施設（中核的施設）を1か所程度配置することを目標とします。 ・中核的施設として機能の集約により複合化を検討する施設は、地区の中心的区域に位置することや、施設の広さや老朽化の度合いなど、立地や施設の状態等を考慮して検討することとします。	4～8施設程度 (8地区ごとに1施設、将来的には2地区ごとに1施設等)
【特定利用施設】 特定の市民に利用される施設	・農業従事者等の特定の市民が利用する施設については、主な利用者である地域団体等への譲渡を検討します。	基本的にゼロ (政策による)

3.3 最適配置の取組手法

公共施設の最適配置の実現に当たっては、以下に示す7種類の取組手法により統廃合等を実施していきます。

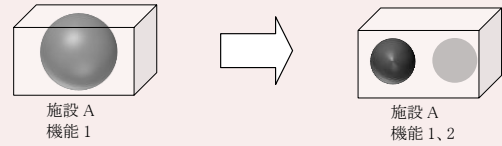
① 類似機能共有化

- ・類似する機能を共有化します。
- ・集会室、会議室等を有する施設や施設機能そのものが重複する施設が該当します。



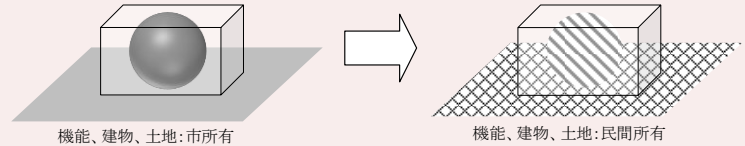
② 複合化・多機能化

- ・既存の異なる機能の施設を統合し、複数機能を有する複合施設を整備します。
- ・供給処理施設及び火葬場を除く全ての施設が該当します。



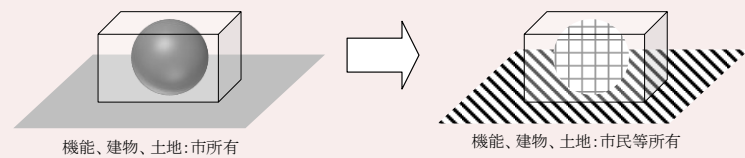
③ 民間移管

- ・従来行政が行っていた事業を、全面的に民間資本によって実施します。
- ・特定の団体等に利用される施設、スポーツ施設、産業系施設、高齢者福祉施設等が該当します。



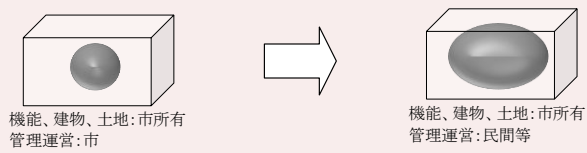
④ 譲渡

- ・施設を市民等に譲渡し、市民等による管理運営を行います。
- ・農林施設等が該当します。



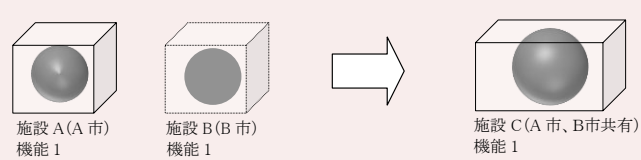
⑤ 管理運営の最適化

- ・指定管理者制度の活用等、民間の資金やノウハウを導入します。
- ・全ての施設が該当します。



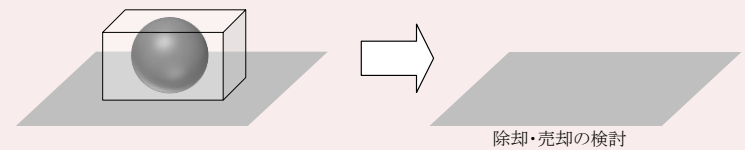
⑥ 広域連携

- ・周辺自治体で共同所有若しくは役割分担を行います。
- ・供給処理施設、火葬場が該当します。



⑦ 廃止

- ・行政サービスの提供及び建物を廃止します。
- ・施設のサービス（機能）の必要性を検討し、必要性が低い場合は廃止を検討します。



4. 施設評価

今後、策定する個別計画に活用するため、施設類型ごとに施設評価を実施し、各施設における今後の整備の方向性を示します。

4.1 評価指標

施設の評価は、評価項目を設定し、項目を数値化することにより行います。

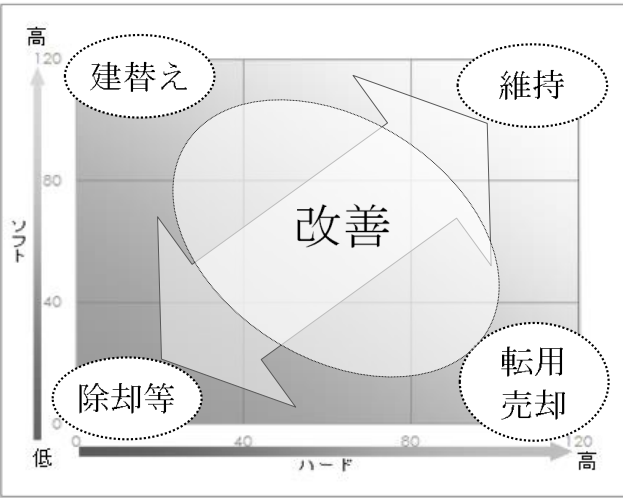
評価項目は右表に示すとおり、施設をハードとソフトに分け、ハードは建物の機能や性能、ソフトは建物の利用状況や管理運営状況を評価軸として項目を設定します。

評価軸		考え方	評価項目
ハード	建物状況	提供サービスの内容にかかわらず、入居する建物のみに着目した評価を行うための評価軸として設定	・築年数 ・安全性 ・バリアフリー化
	防災状況	災害時の避難所としての機能を評価するための評価軸として設定	・避難拠点機能 ・風水害危険性
	拠点性状況	現状のサービス内容や効率性にかかわらず、将来的な拠点としての可能性を評価するための評価軸として設定	・施設特性 ・施設規模 ・立地特性
ソフト	コスト状況	施設の運営に必要なコスト面を評価するための評価軸として設定	・維持管理コスト ・運営コスト
	運営稼動状況	運営の効率性を評価するための評価軸として設定	・稼働時間 ・稼動状況
	公共サービス状況	利用状況を定量的・定性的の両面から評価するための評価軸として設定	・施設の代替性 ・法的な位置付け

4.2 評価結果による最適配置の考え方

評価結果による最適配置の目安として、ハード又はソフトの点数が高いほど今後とも維持すべき建物又は機能として評価します。

- ハード及びソフトがともに高得点 → **維持**
 - ・建物や用途を現状のまま維持する。
- ハード及びソフトがともに低得点 → **除却等**
 - ・用途を廃止し、建物の廃棄や取壊し等を検討する。
- ハードが低得点かつソフトが高得点 → **建替え**
 - ・用途は継続しつつ、既存の建物を取壊して新たな建物を建設する。
- ハードが高得点かつソフトが低得点 → **転用・売却**
 - ・用途変更や規模縮小（複合化）、場合により売却を検討する。
- ハード及びソフトがともに中得点 → **改善**
 - ・建物の適正な管理に加え、性能を現在の要求レベルまで高める。
 - ・行政サービスの向上、規模縮小（複合化）、維持・管理及び運営の最適化（効率化）を図る。



4.3 施設類型ごとの最適配置の方向性

評価結果を考慮した最適配置の方向性について、施設類型ごとに示します。
今後、管理計画や本方針をもとに策定する個別計画において、最適配置の方向性の実現可能性等を検証するとともに、施設評価を活用することで、的確かつ効率的な計画策定に役立てます。

施設類型別の最適配置の方向性（1/3）

中分類	最適配置の方向性
庁舎等	・複合化の受け皿としての可能性を検討する。 ・総合支所は、エリアごとに複数地区を集約し、現在の 8 施設から 4～7 施設に縮減することも考えられる。
その他行政系施設	・ケーブルテレビ事業は民間への譲渡を進める。 ・放送施設(旧局舎)は、譲渡や用途変更による他機能の移転・集約化等、施設の有効活用を検討する。

施設類型別の最適配置の方向性（2/3）

中分類	最適配置の方向性
文化施設	・建物の規模が大きく、かつ比較的新しい上にアクセス性に優れていることから、複合化・多機能化の拠点施設としての可能性を検討する。 ・将来的には同一エリアにある 2 施設を 1 施設に集約することや、市全体で 1 施設に集約することも考えられる。
集会施設	・複合化の受け皿としての可能性を検討する。 ・現在 10 施設ある集会施設は、地区ごとに 1 施設とすることや、将来の人口減少を見据え、複数地区に 1 施設、市全体では 4～7 施設程度に集約することも考えられる。 ・複合化されていない施設は、複合化を検討するとともに、施設評価の点数が低い施設については、統廃合の対象とすることも検討する。
図書館	・人口規模を踏まえた適正量への集約化を検討する。 ・更なるサービスの向上に努めるとともに、市民ニーズや規模の見直し等により、現在の 8 地区ごとに 1 施設の配置を、3 エリアに 1 施設の配置とすることも検討する。
資料館等	・文化財は、文化財価値の維持・向上とともに、効率的な維持管理を目指す。 ・囲碁美術館は、総合支所との複合施設であることから、支所の在り方と併せて最適配置の検討を進める。 ・市内各地に分散している収蔵庫は、集約化や既存施設の用途変更等により、効率的な施設利用を検討する。
プール	・施設管理の見直しと今後の機能集約を検討する。 ・小淵沢 B&G 海洋センターは、今後の施設の在り方について公益財団法人 B&G 財団と協議を進めていく。
体育館	・人口規模を踏まえた適正量への集約化を検討する。 ・全 9 施設を対象に最適配置の在り方を検討する。
弓道場	・現在休止中の明野弓道場は廃止を検討する。 ・武川弓道場は、管理運営の最適化を図るとともに、更新時期には複合化（機能移転）を検討する。
武道場	・全 3 施設を対象に、機能集約など最適配置の在り方を検討する。 ・今後とも維持する施設は、管理運営の最適化を図るとともに、長寿命化を検討する。
屋内ゲートボール場	・利用ニーズを踏まえつつ、規模の適正化を検討する。 ・今後とも維持する施設は、管理運営の最適化を図る。
グラウンド・管理施設等	・グラウンドは、施設の適正量と更新の在り方等を定め、計画的な管理に努める。 ・管理棟は、グラウンドの最適配置による削減の検討とともに、今後とも維持する施設は、最適配置により規模縮小を検討する。
観光施設 (集客施設)	・民間事業者への譲渡を基本とし、総量の縮減を検討する。 ・民間活用が見込めない施設は、他施設との複合化や機能統合等を検討する。 ・今後とも維持する施設は、集客性の向上に努めるとともに、管理運営の最適化を図る。
観光施設 (宿泊施設)	・民間事業者への譲渡を基本とし、総量の縮減を検討する。 ・利用者数の少ない施設やコストバランスがとれていない施設等は優先的に見直しを進めていく。 ・今後とも維持する施設は、集客性の向上に努めるとともに、管理運営の最適化を図る。
観光施設 (観光案内所)	・更なる集客性の向上に努めるとともに、管理運営の最適化を図る。 ・利用者が極端に少ない施設は、拠点施設に集約化するなど、今後の施設の在り方を検討する。
観光施設 (公園等)	・民間活力の導入を進めるとともに、業務の効率化を検討する。 ・利用者が極端に少ない、あるいは既に公園としての役割を終えている施設は、今後の施設の在り方を検討する。 ・美し森展望休憩舎は、管理運営方法について関係者と協議を進める。

施設類型別の最適配置の方向性（3/3）

中分類	最適配置の方向性
農林施設 (物産販売施設)	・物産販売施設は、民間事業者への譲渡を基本とし、総量の縮減を検討する。 ・民間活用が見込めない施設は、他施設との複合化や機能統合等を検討する。 ・道の駅は、更なる集客性の向上に努めるとともに、管理運営の最適化を図る。
農林施設 (体験農園、観光農園)	・民間事業者への譲渡を基本とし、総量の縮減を検討する。 ・民間活用が見込めない施設は、他施設との複合化や機能統合等を検討する。 ・利用の少ない施設や老朽化施設は、施設の集約化又は廃止を検討する。 ・今後とも維持する施設は、集客性の向上に努めるとともに、管理運営の最適化を図る。
農林施設 (農業生産支援施設)	・地域や団体等への譲渡を前提にした民間活用による効率的な維持管理・運営を進める。 ・本来の用途とは異なる施設は、その適正性を検証するほか、施設の譲渡に向けて施設使用者との協議を進める。
温泉施設	・温泉施設を維持するためには高額な費用が必要であり、また、必ずしも市で保有しなければ市民生活に影響がある施設ではないため、本市の財政状況に鑑み、積極的に譲渡等を進める。
幼児・児童施設	・民間活力の導入等による効率的な維持管理・運営の方法を検討する。 ・児童館は、将来の需要動向に応じて規模の最適化を図るとともに、更新時期を捉え、統廃合や多機能化・複合化を検討する。 ・小淵沢共同福祉施設は、行政サービスの向上や運営の最適化を図るとともに、今後の施設の在り方を検討する。
その他教育施設	・へき地教員住宅は、その目的が終了すること、また、既に本来の用途での使用をしていないことなどから、機能の廃止を前提に、今後の施設の在り方を検討する。 ・学校給食施設は可能な限り施設を使用し、大規模な改修等が必要になった場合は、基幹給食センターに機能集約することを検討する。
高齢者福祉施設	・民間事業者の動向を見据え、行政として維持することの必要性を検討する。 ・訪問看護ステーション及び介護老人保健施設は、更なるサービスの向上に努めるとともに、管理運営の最適化を図る。 ・ハヶ岳訪問看護ステーションは、総合支所との複合施設であることから、支所の在り方と併せて最適配置の検討を進める。 ・デイサービス施設は、民間への売却や民間活用も含めた施設の在り方を検討する。
障がい福祉施設	・障害者総合支援センター（かざぐるま）は、更なるサービスの向上に努めるとともに、管理運営の最適化を図る。 ・ながさかりハビリセンターは、行政財産として民間事業者への貸付けを行っていることから、施設の譲渡に向けて施設使用者との協議を進める。
保健施設	・更なるサービスの向上に努めるとともに、管理運営の最適化を図る。 ・必要に応じて長寿命化を検討する。
医療施設	・施設の維持管理費の抑制に努めるとともに、民間病院等を含めた地域医療の提供状況や地域包括ケアシステムの推進等を踏まえて、計画的な保全を進める。
市営住宅	・「北杜市営住宅総合活用計画・長寿命化計画」に基づく適切な維持管理により長寿命化を図る。 ・民間活力の活用の可能性を検討する。
その他	・オオムラサキセンターは、計画的な保全に努め、施設の長寿命化を図る。 ・旧津金学校の屋内運動場及びプールは解体を検討し、跡地については有効活用を図る。

5. 統廃合による影響分析

公共施設の統廃合が行われた場合、施設の利用がしにくくなる地域が生じることも考えられます。ここでは、仮の統廃合案により施設の利用圏域と人口分布の変化を予測することで、今後の個別計画策定に当たっての配慮事項等を検討します。

5.1 分析結果のまとめ

- ・ 同一類型同士での統廃合を実施した場合、統廃合前に比べて施設の利用がしにくくなる※1市民は最大で1.5%の増加にとどまり、大きな影響は出ないことが分かりました。
- ・ 類型を越えた統廃合（複合化）を実施した場合、同類型同士での統廃合との比較では、利用がしにくくなる市民の割合に変化はない一方、施設総量の更なる削減が可能であることが分かりました。
- ・ 以上のことから、統廃合を行うに当たり、複合化の手法を積極的に用いることで、統廃合の効果はより一層期待できる結果となりました。

※1) 自動車で20分以上かかる範囲を「利用しにくい範囲」と定義します。

5.2 対象施設

対象施設は、管理計画で「その他施設③」に位置付けられている施設のうち、施設数が比較的多く、かつ、観光施設等の広域利用を想定した施設を除外し、主に市民の利用を想定した次の施設とします。

対象施設

大分類	中分類	施設数
市民文化系施設	文化施設	3
	集会施設	10
スポーツ施設	体育館	9
	屋内ゲートボール場	8
産業系施設	農林施設（農業生産支援施設）	15
	温泉施設	10
保健・福祉施設	高齢者福祉施設	15

5.3 分析方法

(1) 統廃合の考え方

類型ごとに、ハードの点数が低い施設の順から施設数を30%程度廃止(削減)することで、統廃合の効果を検証します。また、地区バランスを考慮して、同地区から複数の廃止施設を極力出さないよう調整します。

(2) 分析方法

対象施設からの自動車利用（30km/h）による到達できる時間圏域を把握し、その圏域内の人口を統廃合前・後※2で比較することで、現状の施設配置に対する統廃合後の影響（利用しにくくなる※3人口の比較等）を分析します。

※2) 統廃合前の人口は平成22年国勢調査の値、統廃合後の人口は平成62年の推計値

※3) 自動車で20分以上かかる範囲を「利用しにくい範囲」と定義します。

5.4 分析結果:その1(同類型同士の統廃合)

① 文化施設

(1)統廃合の概要

・文化施設は3施設あり、30%程度の縮減を目標として1施設を仮の廃止候補とし、3施設から2施設に縮減するシミュレーションを行いました。

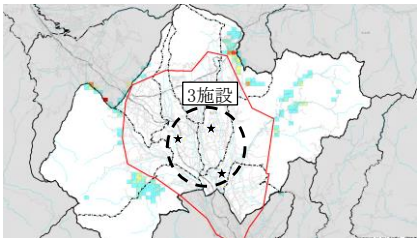
エリア	統廃合の考え方	備考
市内全域	3施設 → 2施設 (1施設廃止)	・30%程度の縮減で3施設から2施設へ縮減

(2)分析結果

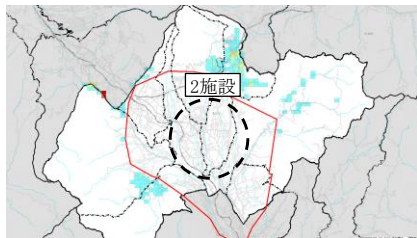
・統廃合により利用しにくくなる市民の割合は0.5%微増します。

	20分圏域内の 人口の割合※
現状(A)	92.8%
将来(B) (統廃合後)	92.3%
(B) - (A)	-0.5%

※全市の人口に対する割合



— 最寄りの施設から車で20分以内で到達できる範囲



— 最寄りの施設から車で20分以内で到達できる範囲

② 集会施設

(1)統廃合の概要

・集会施設は10施設あり、30%程度の縮減を目標として3施設を仮の廃止候補とし、10施設から7施設に縮減するシミュレーションを行いました。

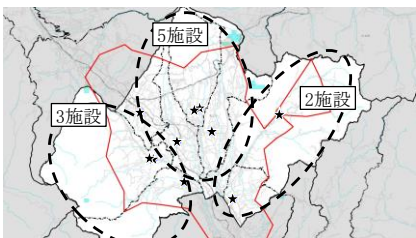
エリア	統廃合の考え方	備考
八ヶ岳南麓高原	5施設 → 3施設 (2施設廃止)	・地区バランスを考慮して廃止候補を選定
甲斐駒ヶ岳	3施設 → 2施設 (1施設廃止)	
茅ヶ岳・瑞牆山	2施設 → 2施設 (現状維持)	
市内計	10施設 → 7施設 (3施設廃止)	・30%程度の縮減で10施設から7施設へ縮減

(2)分析結果

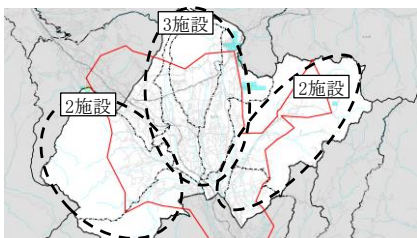
・統廃合により利用しにくくなる市民の割合は0.7%微増します。

	20分圏域内の 人口の割合※
現状(A)	99.5%
将来(B) (統廃合後)	98.8%
(B) - (A)	-0.7%

※全市の人口に対する割合



— 最寄りの施設から車で20分以内で到達できる範囲



— 最寄りの施設から車で20分以内で到達できる範囲

③ 体育館

(1)統廃合の概要

- ・体育館は9施設あり、30%程度の縮減を目標として3施設を仮の廃止候補とし、9施設から6施設に縮減するシミュレーションを行いました。

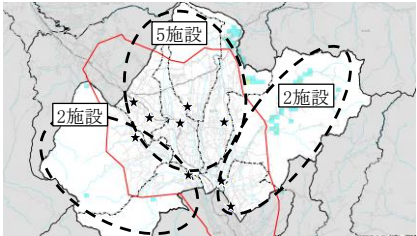
エリア	統廃合の考え方□	備考
八ヶ岳南麓高原	5施設 → 3施設 (2施設廃止)	・地区バランス及びエリアバランスを考慮して廃止候補を選定
甲斐駒ヶ岳	2施設 → 2施設 (現状維持)	
茅ヶ岳・瑞牆山	2施設 → 1施設 (1施設廃止)	
市内計	9施設 → 6施設 (3施設廃止)	・30%程度の縮減で9施設から6施設へ縮減

(2)分析結果

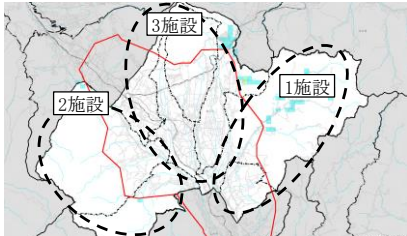
- ・統廃合により利用しにくくなる市民の割合は1.1%減少します。

	20分圏内の 人口の割合※
現状(A)	97.7%
将来(B) (統廃合後)	98.8%
(B) - (A)	1.1%

※全市の人口に対する割合



— 最寄りの施設から車で20分以内で到達できる範囲



— 最寄りの施設から車で20分以内で到達できる範囲

④ 屋内ゲートボール場

(1)統廃合の概要

- ・屋内ゲートボール場は8施設あり、30%程度の縮減を目標として3施設を仮の廃止候補とし、8施設から5施設に縮減するシミュレーションを行いました。

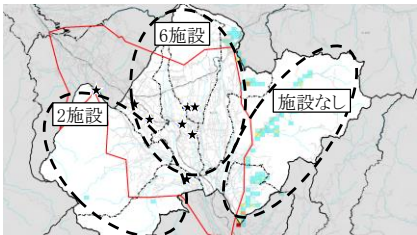
エリア	統廃合の考え方□	備考
八ヶ岳南麓高原	6施設 → 3施設 (3施設廃止)	・地区バランス及びエリアバランスを考慮して廃止候補を選定 ・茅ヶ岳・瑞牆山エリアには当該施設がないため、施設の在り方を検討する必要がある
甲斐駒ヶ岳	2施設 → 2施設 (現状維持)	
茅ヶ岳・瑞牆山	施設なし	
市内計	8施設 → 5施設 (3施設廃止)	・30%程度の縮減で8施設から5施設へ縮減

(2)分析結果

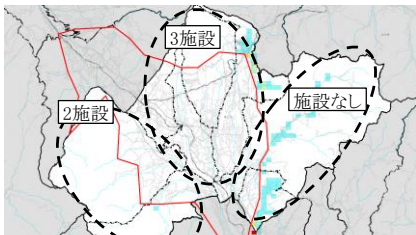
- ・統廃合による利用しにくくなる市民の割合に変化はありません。

	20分圏内の 人口の割合※
現状(A)	95.1%
将来(B) (統廃合後)	95.1%
(B) - (A)	0.0%

※全市の人口に対する割合



— 最寄りの施設から車で20分以内で到達できる範囲



— 最寄りの施設から車で20分以内で到達できる範囲

⑤ 農林施設(農業生産支援施設)

(1)統廃合の概要

- ・農業生産支援施設は15施設あり、30%程度の縮減を目標として5施設を仮の廃止候補とし、15施設から10施設に縮減するシミュレーションを行いました。

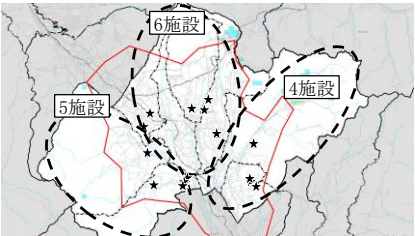
エリア	統廃合の考え方	備考
八ヶ岳南麓高原	6施設 → 3施設 (3施設廃止)	・地区バランスを考慮して廃止候補を選定
甲斐駒ヶ岳	5施設 → 4施設 (1施設廃止)	
茅ヶ岳・瑞牆山	4施設 → 3施設 (1施設廃止)	
市内計	15施設 → 10施設 (5施設廃止)	・30%程度の縮減で15施設から10施設へ縮減

(2)分析結果

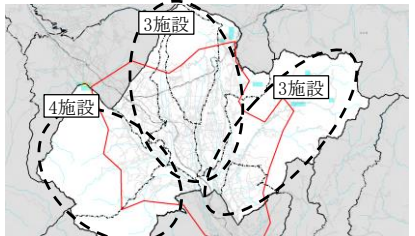
- ・統廃合による利用しにくくなる市民の割合に変化はありません。

	20分圏内の 人口の割合※
現状(A)	99.1%
将来(B) (統廃合後)	99.1%
(B) - (A)	0.0%

※全市の人口に対する割合



— 最寄りの施設から車で20分以内で到達できる範囲



— 最寄りの施設から車で20分以内で到達できる範囲

⑥ 温泉施設

(1)統廃合の概要

- ・温泉施設は10施設あり、30%程度の縮減を目標として3施設を仮の廃止候補とし、10施設から7施設に縮減するシミュレーションを行いました。

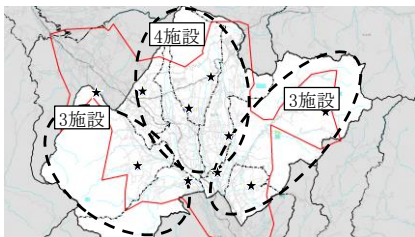
エリア	統廃合の考え方	備考
八ヶ岳南麓高原	4施設 → 2施設 (2施設廃止)	・地区バランス及びエリアバランスを考慮して廃止候補を選定
甲斐駒ヶ岳	3施設 → 2施設 (1施設廃止)	
茅ヶ岳・瑞牆山	3施設 → 3施設 (現状維持)	
市内計	10施設 → 7施設 (3施設廃止)	・30%程度の縮減で10施設から7施設へ縮減

(2)分析結果

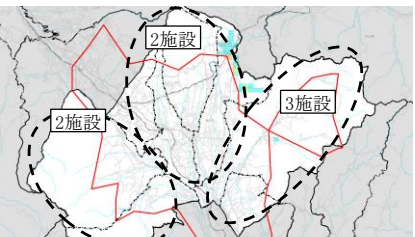
- ・統廃合により利用しにくくなる市民の割合は1.5%微増します。

	20分圏内の 人口の割合※
現状(A)	99.8%
将来(B) (統廃合後)	98.3%
(B) - (A)	-1.5%

※全市の人口に対する割合



— 最寄りの施設から車で20分以内で到達できる範囲



— 最寄りの施設から車で20分以内で到達できる範囲

⑦ 高齢者福祉施設

(1) 統廃合の概要

・ 高齢者福祉施設は15施設あり、30％程度の縮減を目標として5施設を仮の廃止候補とし、15施設から10施設に縮減するシミュレーションを行いました。

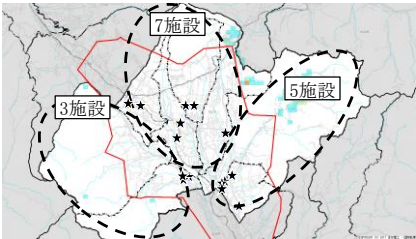
エリア	統廃合の考え方	備考
八ヶ岳南麓高原	7施設 → 5施設 (2施設廃止)	・ 地区バランスを考慮して廃止候補を選定
甲斐駒ヶ岳	3施設 → 2施設 (1施設廃止)	
茅ヶ岳・瑞牆山	5施設 → 3施設 (2施設廃止)	
市内計	15施設 → 10施設 (5施設廃止)	・ 30％程度の縮減で15施設から10施設へ縮減

(2) 分析結果

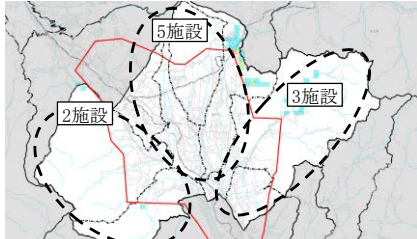
・ 統廃合による利用しにくくなる市民の割合に変化はありません。

	20分圏内の人口の割合※
現状(A)	98.1%
将来(B) (統廃合後)	98.1%
(B) - (A)	0.0%

※全市の人口に対する割合



— 最寄りの施設から車で20分以内で到達できる範囲



— 最寄りの施設から車で20分以内で到達できる範囲

5.5 分析結果: その2(類型を越えた統廃合(複合化を考慮))

文化施設及び集会施設

(1) 統廃合の概要

- 複合化の考え方
 - ・ 文化施設を複合化の拠点施設と位置付け、周辺に位置する集会施設を文化施設へ機能移転させることで複合化を図ります。
- 縮減の考え方
 - ・ 両施設を合わせた全体で30％程度の縮減を目指します。具体的には、文化施設を複合化の拠点施設として全施設を維持し、その分集会施設を縮減することで削減量を調整します。
- 評価方法
 - ・ 複合化による評価は集会機能に着目し、前項で示した集会施設同士の統廃合のケースと、複合化を考慮した本ケースとを比較することで、複合化による効果検証を行います。

文化施設及び集会施設の類型単独での統廃合(前項のケース)口

エリア	統廃合の考え方	備考
八ヶ岳南麓高原	7施設 → 4施設 (7建物 → 4建物)	・ 類型ごとに地区バランスを考慮して廃止候補を選定
甲斐駒ヶ岳	3施設 → 2施設 (3建物 → 2建物)	
茅ヶ岳・瑞牆山	3施設 → 3施設 (3建物 → 3建物)	
市内計	13施設 → 9施設 (13建物 → 9建物)	・ 類型ごとに、それぞれ30％程度の縮減で合計13施設(建物)から9施設(建物)へ縮減
	[内訳] ・ 文化施設 3施設 → 2施設 (3建物 → 2建物) ・ 集会施設 10施設 → 7施設 (10建物 → 7建物)	

文化施設及び集会施設との複合化による統廃合(本ケース)口

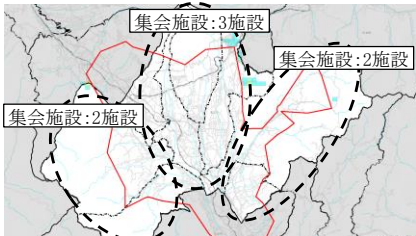
エリア	統廃合の考え方	備考
八ヶ岳南麓高原	7施設 → 5施設 (7建物 → 4建物)	・ 地区バランスを考慮して廃止候補を選定 ・ 拠点施設となる文化施設に対して比較的近い場所に位置する集会施設2施設を、文化施設2施設へそれぞれ機能移転による複合化を実施
甲斐駒ヶ岳	3施設 → 2施設 (3建物 → 2建物)	
茅ヶ岳・瑞牆山	3施設 → 3施設 (3建物 → 2建物)	
市内計	13施設 → 10施設 (13建物 → 8建物)	・ 統廃合の結果、集会施設は10施設(建物)から5施設(建物)に縮減するものの、そのうち2施設は文化施設内に機能移転させるため、施設数は前項のケースと同様に7施設となる
	[内訳] ・ 文化施設 3施設 → 3施設 (3建物 → 3建物) ・ 集会施設 10施設 → 7施設 (10建物 → 5建物)	

(2)分析結果

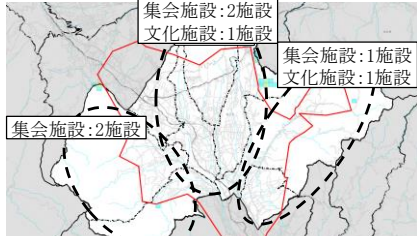
・複合化による利用しにくくなる市民の割合に変化はありません。

	20分圏内の人口の割合※
将来(A) (同類型統廃合)	98.8%
将来(B) (統廃合後)	98.8%
(B) - (A)	0.0%

※全市の人口に対する割合



— 最寄りの施設から車で20分以内で到達できる範囲



— 最寄りの施設から車で20分以内で到達できる範囲

6. 今後の取組

6.1 最適配置の実現に向けた取組

(1) 統括管理のための体制

管理計画に基づき、全庁横断的な統括管理のための仕組みづくりに取り組みます。
また、市民との情報共有・合意形成を図るとともに、確実な推進を図れるよう進捗管理を行います。

(2) 白書の活用

白書に係る施設データについて、本方針の推進に活用します。

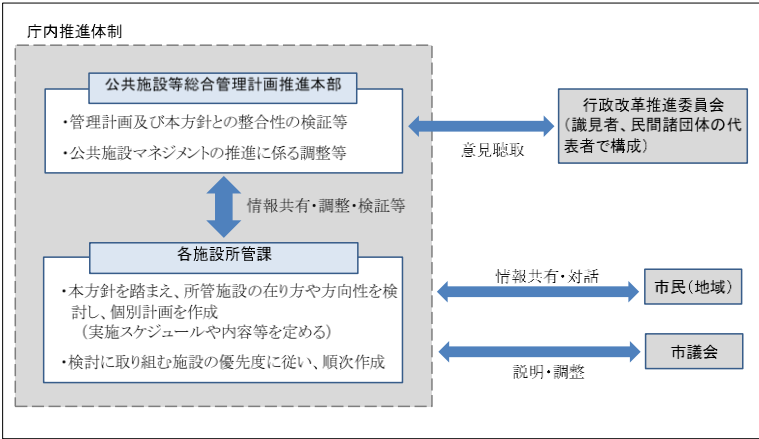
(3) 公会計システムの活用

今後、全ての地方公共団体に適用する統一的な基準による財務書類の作成や、補助簿として整備する固定資産台帳により、公共施設に関する情報を効率的に整理・分析し、本方針の推進に活用します。

6.2 個別計画の策定

本方針は、今後の施設類型ごとの最適配置に向けての具体的な方向性を示しており、今後は、管理計画や本方針をもとに個別計画を策定することとなります。

個別計画は、施設特性に応じた整備・維持管理等に関する具体的な行動内容や実施時期等を定め、公共施設の適切な維持管理及び最適配置の実現を目指します。



6.3 公共施設最適配置の実現に向けたロードマップ

公共施設の最適配置の取組においてはロードマップ（行程表）を策定し、計画の進捗状況に応じて一定の評価等を行いながら、最適配置の実現性を担保します。

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(1年目)	平成30年度(2年目)	平成31年度(3年目)	平成32年度(4年目)	平成33年度(5年目)	平成34年度(6年目)	平成35年度(7年目)	平成36年度(8年目)	平成37年度(9年目)	平成38年度(10年目)
総合計画	第1次総合計画 計画期間:平成19～28年度				第2次総合計画 計画期間:平成29～38年度									
行(財)政改革大綱	第2次		第3次行財政改革大綱		第4次行財政改革大綱									
公共施設マネジメント白書	作成	白書の更新・蓄積 → 施設の再配置等の検討に活用												
公共施設等総合管理計画		管理計画策定		必要に応じて見直し										
公共施設最適配置に向けての基本方針		基本方針策定		必要に応じて見直し										
個別計画・事業化	ヒアリング・進捗管理（統括管理課）													
	実現可能な検証（施設所管課）													
	※③の施設を優先的に検討し、個別計画を策定													
	※③の施設は平成31年度までの策定を目指す													
	※②の施設は更新時期を見据えて必要に応じて策定													
	実現可能な施設類型から事業化 → 有識者からの意見聴取、住民説明会、ワークショップの開催													

北杜市公共施設最適配置に向けての基本方針（概要版）
平成29年3月

発行・編集：北杜市役所 企画部 企画課

住所：〒408-0188

山梨県北杜市須玉町大豆生田961-1

電話：0551-42-1111（代表） F A X：0551-42-1122

ホームページ：<http://www.city.hokuto.yamanashi.jp/>